



みやむら動物病院

～LVL 木層ウォールによる準不燃都市木造建築～

地域で評判の「みやむら動物病院」移転増床にあたり、都市計画で拡幅された道路に広く南面した細長い敷地に4つの診察室や入院、手術、CT装置などの設備を備え、かつ接客部分の居心地を重視した建築が要望された。

待合室と道路とを隔てる主立面である南面外壁と、東西面内外壁の一部に、構造材としてLVL（単板積層材）厚板壁「木層ウォール」を先駆的に採用した。これは、LVL積層面の美しさを引き出す建築材料として全国LVL協会の開発に私達も参画したもので、厚さ150mmの構造体であると同時に無被覆で外壁として一時間準耐火の大臣認定を取得している。

主たる接客空間である待合室は、居心地良く過ごせるように吹抜の空間とし、「木層ウォール」の積層面をあらわしで用いた。上層階で要求される面積を確保するために行くほど吹抜の幅を狭め、上昇感のある断面形状とした。縦穴区画の必要なのでこの面には強化石膏ボードで区画をした上で15mm厚の仕上用LVL材を用い、3階に設けた医局サロンとともに全体が積層面に包まれた、特徴的な空間を創出した。

南側外壁面は、耐候性をもたせるために構造材であるLVL壁柱の外側に透湿防水シートと通気層を取り、撥水防腐塗装をした30mm厚の仕上用LVL材を施している。これにより、内部空間はもとより町並みの中にも、木の持つ豊かな表情を活かした景観を創出できたのではないかと考えている。

